

産学官連携COEについて

1. 目的

- ・産学官の有能な人材を結集し、世界に勝てる産業技術競争力を獲得
- ・本研究拠点の活動をとおして、次世代(大学院生、ポスドク)の育成を加速

2. 成功させるための課題

(1) 優秀な人材の結集

- ・トップランナー方式として、トップレベルの教授、国研・企業研究者が参加
- ・魅力あるチャレンジングなテーマを選定
- ・大学教官の兼業自由度の確保
- ・リーダーに専念する場合の、大学教官の休職制度の積極的活用
- ・参加大学院生への相当の給付を確保

(2) 責任あるマネージメント

- ・リーダーが全面的な権限と責任を持つ
- ・産業界からも積極的に運営にコミットする
- ・プロジェクト費用内で十分な事務経費を手当てする

(3) 組織と資金

- ・文科省、経済省、総務省、企業からのマルチファンド
- ・上記を円滑に運用できる組織形態を実現

(4) 研究場所、設備

- ・研究者を研究拠点に集中、必要に応じ、マルチ拠点方式をとる
- ・研究者は、各研究拠点間を自由に行き来可能
- ・産業界は保有する、最先端の試作設備などの利用の便宜を供与

(5) 知的財産権

- ・知的財産権の所有権は、研究者、研究機関に与える(JSTからの委託で研究開発を行う場合もバйдール法を適用することを前提)
- ・特許化に要する費用は、プロジェクト費用で手当て可能にする

(6) 成果の形態

- ・参加企業または第3社企業における新事業、新製品
- ・ベンチャー企業の立ち上げ
- ・特許、ノウハウの取得と活用
- ・材料技術データベースの構築と活用